

群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」から「塙保己一 ことども」と題した小冊子が刊行されました。温故学会のご協力により、掲載させていただくことになりました。子供からお年寄りまで、読みやすくわかりやすいお話となっております。

塙保己一 ことども (提供:公益社団法人 温故学会)

『群書類従』はどのぐらい出版されたのか?



理事長 齊藤幸一氏

『群書類従』は天明6年(1786)年、200組の限定予約出版で刊行がはじめられました。最初は、江戸近郊の大名家を中心に予想を超える300組程度の予約がありました。全巻の価格は48両(現在の500万円)ですが、これは紙代と刷代だけのもので保己一の意向もあり採算を度外視したものでした。

その後、幕末の混乱期には再三の値上げを余儀なくされますが、出版は継続されました。しかし、明治初期に版木が塙家から離れると、出版は中断となりました。明治42年版木が発見されると、摺り立てを再開、大正4年には東宮職から御下命がありケンブリッジ大学に納入される栄誉に浴しました。(「光栄記念」版)

また『群書類従』は、明治35年に田口鼎軒博士が主宰する経済雑誌社によって活版本として出版され、大正11年には続群書類従完成会(太田藤四郎・豊島区)が、「続・群書類従」「続々・群書類従」「群書解題」を継続的に出版し日本中に普及しました。しかし、完成会は平成18年に閉鎖。その後は八木書店(神保町)によってオンデマンド印刷(予約)によって出版は今も継承されています。活版本は全国の大学図書館や公立の図書館で利用することができます文献となりました。

さらに平成の時代になると、CD版『群書類従』(3枚組・大空社)も販売されるなど、多くの方々によって利用されています。

なお『群書類従』版本の出版は、江戸時代から今日まで、一時期の中断はありますが、約40万冊が摺られています。

顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

年会費 個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ)、アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内

所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第40号

令和3年5月号



第14回塙保己一賞受賞者の皆様とご来賓

ごあいさつ

新緑の色増す季節となりました。会員のみなさまもご健勝のことと拝察いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、昨年度の総会は書面議決とし、顕彰祭や塙保己一賞は座席数の制限や、検温・換気などを行いながら開催させていただきました。このような状況ではございますが、会員の皆様方の変わらぬご協力に感謝申し上げます。

今後も、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、感染拡大防止に配慮しながら、皆様に明るい話題をお届けできるよう、取り組んでまいります。

塙保己一先生の没後200周年にあたる今年は、かねてより準備を進めてまいりました物語形式の小冊子を発行いたします。また、本庄市においても記念事業の計画がございますので、皆様からの更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
会長 吉田 信 解

5月29日（土）に顕彰会総会を開催します。皆様のご参加をお願いします。

日 時 5月29日（土）
・午後1時30分 受付開始
・午後2時 開 式
会 場 セルディ ホール
内 容 令和2年度事業報告・決算報告
令和3年度事業計画・予算案審議
演 題 「塙保己一先生の実像に迫る」
～マルチな才能の持ち主だった～
講 師 （公社）温故学会 理事長 齊藤幸一 氏



理事長 齊藤幸一 氏

※新型コロナウイルスの感染対策を行い開催します。
状況により開催できない場合は本庄市ホームページに掲載します。

令和2年度顕彰会事業報告

総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会は書面による決議といたしました。
審議内容： 令和元年度事業報告・決算報告・令和2年度事業計画案・予算案審議について

200回忌の墓前祭・遺徳顕彰祭

9月12日（土）午前、墓前にて200回忌法要を神仏習合で執り行い、午後、セルディにて遺徳顕彰祭を行いました。（式典開始前に墓前祭の様子をスライドで紹介）

200回忌記念講演会（本庄市市民総合大学連携）

【第1弾】 9月19日（土）第1部 堺正一氏の講演「素顔の塙保己一」、第2部 宝井琴梅師匠の講談「愛の巾着袋」を開催しました。

【第2弾】 10月24日（土）温故学会理事長齊藤幸一氏による講演「塙保己一先生江戸ゆかりの地をめぐる」を開催しました。

第14回塙保己一賞表彰式・記念コンサート

令和2年12月19日（土）午後1時から本庄市児玉文化会館（セルディ）ホールにて、埼玉県が主催、本庄市が共催する「第14回塙保己一賞」が開催されました。総検校塙保己一先生遺徳顕彰会も協力するため、会員の皆様に広報しました。

大賞には、地歌・箏曲の流派「富筋」の芸系を継承し、すべて暗譜で演奏できる地歌・箏曲会の第一人者である富田清邦（とみたせいほう）氏が受賞されました。

また、国内外でコンサートや講演などを実施している全盲の和太鼓・パーカッション奏者の片岡亮太（かたおか りょうた）氏とフレンチホルン奏者の山村優子（やまむら ゆうこ）氏による記念コンサートが開かれました。



片岡氏と山村氏のコラボ演奏

塙保己一没後200周年の記念事業

◆「(仮称)保己一物語」を作成します。

市内高校生が描いた挿絵を入れ、オールカラーB5版約100ページの物語を発行します。
令和3年度は市内の小学生全員に配布し、翌年度以降5年間、小学校の新入学児童に配布します。

◆本庄市市民総合大学と連携した公開講座を開催します。

※事前申込み不要。直接会場へお越しください。

日時	講座内容	講師	会場
9月15日(水)	【県北の三偉人】 渋沢栄一～郷土の人材育成～	篠田 鼎一郎 先生	児玉文化会館 (セルディ)
9月22日(水)	【県北の三偉人】 荻野吟子を巡る風景	坂東 隆秀 先生	
9月29日(水)	【県北の三偉人】 塙保己一先生没後200年を記念して ～顕彰活動の歴史について～	(公社)温故学会 齊藤 幸一 先生	
10月3日(日)	【地元が語る塙保己一】 地元ならではの視点から、総検校 塙保己一先生に迫る。	荒井 一夫 先生	
11月6日(土)		野口 泰宣 先生	
12月5日(日)		根岸 久 先生	
12月7日(火)	①10:00～11:30 ②13:30～15:00 塙保己一とヘレンケラー ※①と②の内容は同じです。	本庄市身体障害者福祉会 会長 種村 朋文 先生	本庄 市民文化会館

◆第15回塙保己一賞に協力します。

第15回塙保己一賞は、埼玉県と本庄市の共催で、令和3年12月18日(土)に没後200周年事業として開催する予定です。次号以降に詳細を掲載します。

“塙保己一没後200周年記念ロゴマークを作成”



本庄市では、塙保己一没後200周年記念ロゴマークを一般公募により作成しました。ホームページからダウンロードできますので、PRにご協力ください。

また、本庄市役所、児玉総合支所、はにぽんプラザに懸垂幕が、本庄駅自由通路にパネルが設置されました。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では本庄市と協力し、塙保己一没後200周年記念事業を推進してまいります。

